

ストレンジャー・コール

2007(平成19)年8月11日鑑賞(ウウラク座)

★★★



第7章

バカバカしさ
と面白さは紙一重

監督=サイモン・ウェスト/出演=カミラ・ベル/ケイティ・キャンディ/ブライアン・ジェラティ/トミー・フラナガン (ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント配給/2006年アメリカ映画/87分)

……人里離れた丘の上に建つ豪邸を舞台に、ベビーシッターとしてやってきた若きヒロインが87分間出ずっぱりの大熱演を！ ホラーの源となる小道具は電話。最初は無言だった見知らぬ男の口からは一体どんな言葉が？ そして、次第に深まっていく恐怖心と闘うヒロインはどんな行動を？ しかして、その結末は？ 暑い、暑いとベランダの窓を開けたまま寝たりしていると、あなたにもある日、こんなストレンジャー・コールがかかってくるかも……？

全米 No.1のふれ込みだが……？

この映画の売り文句は、「全米 No.1『トゥームレイダー』の監督が放つショッキング・ホラー」というもの。ここで言う全米 No.1とは、小さな字で書かれている「2006年2月3日～2月5日まで公開3日間の全米興行成績2160万ドル」ということ。いわゆる初登場第1位となり、3日間だけで約25億円の興行収入をあげたのは立派だが、最終興行収入額を示していないのは、ひょっとしてその後は先細りになったのかも……？ あえてそんな意地悪な言い方をしたが、『トゥームレイダー』(01年)、『將軍の娘/エリザベス・キャンベル』(99年)、『コン・エアー』(97年)の3作で、世界中で合わせて7億ドル以上の興行収入をあげたというサイモン・ウェスト監督の今回の作品は、1978年の『夕暮れにベルが鳴る』をリメイクしたショッキング・ホラー。さあ、そんなリメイクものが、突然こんな立派な成績をあげたワケは……？

ホラー映画にも、あれこれのパターンが……

ホラー映画にもあれこれのパターンがあり、私が今年観たものだけでも、①『ホス

テル』(05年)(1月6日鑑賞)、②『エクステ』(06年)(1月12日鑑賞)、③『ドリーム・クルーズ』(07年)(4月13日鑑賞)、④『叫(さけび)』(06年)(5月13日鑑賞)、⑤『ゴースト・ハウス』(07年)(6月8日鑑賞)、⑥『こわい童謡 表の章』(07年)(7月27日鑑賞)がある。そして、8月9日に観た中田秀夫監督の『怪談』(07年)もホラー映画だとすれば、これは美しい日本美とセットになったホラーもの……？

しかして、この『ストレンジャー・コール』は、幽霊が出てきたり、身体が切り刻まれたりするようなホラーものではなく、心の内側からじわじわと迫ってくる恐怖を描いたもの。その舞台は、人里離れた丘の上に建つ一軒の豪邸。主人公は、ベビーシッターのアルバイトのためにやって来た美しい女子高生のジル・ジョンソン(カミエラ・ベル)。そして、ジルをじわじわと追い詰めていく恐怖の武器となるのは電話。その着信音は今ドキのケイタイのようにバラエティ豊かな着メロではなく、リンリンと鳴る無機質なものだが、それが鳴り、受話器から不気味な男の息づかいが伝わってくるたびに、ジルの恐怖は次第に増幅していくことに……。

あなたの英語力は……？

この映画の邦題の意味は、高校生レベルの英語力があれば十分理解できるはず……？ 1987年発売のフランク・シナトラのヒット曲に『Strangers in the Night』があった。「stranger」には訪問者、客という意味もあるが、この曲でいう「stranger」はそうではなく「見知らぬ人」という意味。したがって、「夜に出会った見知らぬ者同士」というような意味。また、その歌詞は「夜に出会った見知らぬ者同士が視線を交わし、あいさつを交わし、暖かい抱擁のダンスをし、そして……」というような意味……？ それと同じように、この映画でいう「stranger」も見知らぬ人という意味。したがって、「ストレンジャー・コール」をお客さんからの電話と理解するのは完全な誤りで、見知らぬ者からの電話と訳さなければ、その恐怖は全然伝わってこないことになる。ちなみに、原題は『WHEN A STRANGER CALLS』(直訳すれば「見知らぬ者からの電話があった時」)だが、「～の時」はつかない邦題でもその恐さは十分……？ しかして、そこで試されるのはあなたの英語力……？

87分間出ずっぱりのヒロインに拍手！

この映画は87分間という短いものだが、驚くべきことにヒロインのジルはその87分

の間出ずっぱりで、スクリーン上に姿を見せないのは、景色が映し出されている間だけ……。カミーラ・ベルは7歳から子役として活躍していた1986年生まれ女優で、『沈黙の陰謀』（98年）、『ロスト・ワールド／ジュラシックパーク2』（97年）、『プラクティカル・マジック』（98年）等に出演していたそうだが、私の印象には全く残っていなかった女優。この映画の成否はストーリー性もさることながら、全編出ずっぱりとなるヒロインの表情や演技力によるところ大。したがって、サイモン・ウェスト監督がパンフレットの中で述べているキャスティングへの思いは興味深い。

豪邸での気楽な一晚のバイトという気持で、広いリビングルームのソファに腰をおろしたジルは今日、ベビーシッターとしてやってきたこの豪邸で、ボーイフレンドのポビー（ブライアン・ジェラティ）からの電話を待っていた。ポビーがなぜジルの親友であるティファニー（ケイティ・キャシディ）とキスをしたのか、今後2人はどんな関係が続けていけばいいのかを話し合うためだ。そして、たしかにポビーからもティファニーからも電話がかかってきたが、電波状態が悪いこともあり、その話は中途半端なまま。ところが、そんな電話の合間に不気味な無言電話が何回も……。

したがってその後の展開は、ストレンジャー・コールによる恐怖との闘い、そしておぼろげに姿が見えはじめたストレンジャーから子供たちを守るための闘いの連続となることに。そんな87分間も出ずっぱりの若きヒロインに拍手！

美しい豪邸の内側は……？

この映画の三大要素は、ヒロインと電話そして豪邸。この豪邸にはもちろん電動のロック機能がついているし、スイッチ1つであらゆる装置が稼働するようになっていから、ホントはその操作を覚えるだけでも大変。

パンフレットの中で製作総指揮のパディ・カレンは、「観客が見飽きているゴシック調、ビクトリア調、アメリカン・クラシックといった典型的なお化け屋敷は絶対に避けると決めていた」と語っているが、近代的で美しい外観のこの豪邸の特徴の1つは、巨大な中庭（アトリウム）。そこは池があり、鳥が舞っているという実に美しい空間。もちろん、それを眺める各部屋は全面ガラス張りとなされているから、開放感は抜群！ もっとも、それは同時に部屋の中をストレンジャーから見つめられるという危険を生むことにも……？

この豪邸のもう1つの特徴は、物語のホラー性を高めるために、あえてその間取り

を観客に教えてくれないこと。ジルをベビーシッターとして雇い出かけていったリッチな夫婦には、既に子供部屋で寝ている2人の子供の他、住み込みのお手伝いさんがいた。そして、現にジルは1度は庭の魚たちにエサをやっている彼女の姿を見かけあいさつもしたのだが、いつの間にかこのお手伝いさんの姿も見えなくなり……？

次第にストレンジャーの姿が見えてくる中、建物内部の構造がわからないことが大きな恐怖を生み出す1つの原因に……。したがって、ホントは映画鑑賞後には、この豪邸の見取り図くらいは見せてもらいたいものだが……。

ホントにこんな逆探知ができるの……？

誘拐事件を扱った映画では、犯人からかかってきた電話での家族の会話を、捜査員たちが逆探知のためできるだけ引き延ばしてくれと頼むシーンがよく登場する。それとよく似たシーンがこの映画でも……。

見知らぬ者＝ストレンジャーから自分の行動が見られていると確信したジルが、遂に警察に助けを求めた時、逆探知のため1分間以上しゃべってくれと言われたのがそれ。しかし、逆探知のための装置を電話機にセットして、ジルが受話器で1分以上話せば、こんな田舎の警察でもホントに逆探知ができるの……？ 私はそんなふうにタカをくくっていたのだが、実際は大したもの。逆探知に成功した警察官からは、「今、犯人は……」という驚くべき警告が……。

ヒロインの勇気に感動！ しかし……？

パンフレットには、ストレンジャーを演ずるトミー・フラナガンの顔がごく普通の表情で載っているが、映画の中ではかなり不気味な姿で登場したのは当然。

そんな不気味なストレンジャーと20歳にもならないハイスクールの女の子が2人の子供を守りながら闘うのだから、そりゃ大変。映画後半は、心理的な恐怖心を通り越して、現実にも目の前に登場してきたストレンジャーから逃げ、かつ闘うヒロインの姿がスクリーン上で展開されることになる。そんな攻防戦の展開とそのクライマックスシーンを見れば、きっとあなたもヒロインの勇気に感動するはず！

するとそれによって、この映画はハッピーエンドに……？ いやいや、そうなるかどうかはあなた自身の目で……。きっとこの映画には何か驚くべき結末が待ち構えているはずだから……。

2007(平成19)年8月13日記